

(臨床研究に関する公開情報)

長崎医療センターでは、下記の臨床研究に既存試料・情報を提供する機関として参加おります。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合やお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] くも膜下出血発症に関わるデータベース構築

[研究協力者] 長崎医療センター 脳神経外科・部長 案田 岳夫

[研究の背景]

くも膜下出血は、脳動脈瘤破裂により発生し、脳血管障害の中でも最も重症の病気です。手術治療の進歩などによって最近ではその治療予後が改善しつつありますが、今後の治療法の改善の余地があります。本研究では、くも膜下出血患者さんの情報収集を行います。

[研究の目的]

本研究では、時代とともに変遷してきたくも膜下出血患者さんに対して選択される手術法や薬剤とその予後などについて、一定期間のデータを集積し、データベースを構築することを目的とします。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

下記の①あるいは②に該当する患者さんが対象になります。

①「長崎くも膜下出血研究」に登録した患者さん

②2023年12月1日～2027年12月31日の間に長崎医療センターにおいて非外傷性くも膜下出血と診断され、加療を受けた患者さん

●研究期間：研究機関長の許可日 ～ 西暦 2027 年 12 月 31 日

●利用するカルテ情報

カルテ情報：

年齢、性別、既往歴、家族歴、発症日、入院日、入院時の時の所見（神経学的所見画像所見等）、施行された治療法

●情報の管理

通常診療において得られた情報は、研究代表者機関である長崎大学病院に個人を特定できないようにして集められ、集計、解析が行われます。

提供先：長崎大学病院脳神経外科 くも膜下出血研究会事務局

提供方法：年に1回、情報収集シートに必要項目を入力し、上記の提出先へパスワードをかけて提出します。

[研究組織]

この研究は、多施設との共同研究で行われます。研究で得られた情報は、共同研究機関内で利用されることがあります。

●研究代表者（研究の全体の責任者）：長崎大学病院 脳神経外科 松尾 孝之

●その他の共同研究機関：

長崎労災病院、長崎県島原病院、十善会病院、石坂脳神経外科、公立みつぎ総合病院、佐世保市立総合病院、宮崎病院、小波瀬病院、福岡青洲会病院、周南記念病院、安永脳神経外科、佐世保中央病院、森の木脳神経外科、長崎川棚医療センター、済生会長崎病院、長崎みなとメディカルセンター、長崎北徳洲会病院

[個人情報の取扱い]

研究に利用する個人情報は、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、使用しません。

試料や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

[問い合わせ先]

国立病院機構長崎医療センター

脳神経外科・部長 案田 岳夫

電話番号：0957-52-3121（代表）